

## 花巻駅橋上化

Q 伊藤盛幸 議員

市民の意見を聞いて事業の可否を決める考えは、事業の優先度が低いとの位置づけか。

A 市長

花巻駅橋上化事業に対する市の考えは、まちづくりの観点から言えば優先度は決して低いものとは捉えておらず、市民への説明会の中でも賛同の意見が聞こえている。本事業は、駅利用など近隣の一部市民に留まり、全体に恩恵を与えるものではないことも踏まえ、多くの市民の声を聞いていくことは大事と受け止める。

Q 伊藤盛幸 議員

利便性を考えるならば橋上駅でなく橋上駅とすべき。その可能性について伺う。

A 市長

半橋上駅と橋上駅の違いは改札口の位置で決まるが、半橋上駅では改札口は東か西の一方となるため、どちらかが移動距離が長くなる。

橋上駅では改札口が自由通路中央部に設置され、東西口とも移動距離はほぼ同じとなる。ただし、橋上駅は駅舎も線路の上空に建設するため、建設費が高額となる。どちらにもメリット・デメリットがあり、今後JR東日本と協議を重ねていく。



東西自由通路の整備はどうか（花巻駅駅舎とモニュメント風の鳴る林）

Q 照井省三 議員

花巻駅の東西自由通路、いわゆる駅の橋上化整備事業の住民説明会の参加人数、質疑意見を踏まえて説明会の評価について伺う。

A 市長

花西地区、花巻中央地区、花北地区の各コミュニティ会議の役員の方々への説明会、地域の方を対象とした説明会、市全域を対象とした説明会を開催し114人の参加をいただき、40件の質問や意見をいただいた。市民の事業計画に対する理解が進むとともに意見を把握できたと考えている。

A 市長

本年度は12カ所の河川排水路改修事業を実施。来年度以降も河川改修、しゅんせつや樹木伐採を行い、水の流れを阻害しないよう維持管理に努めていく。

## 福祉避難所

Q 若柳良明 議員

市内の温泉施設や宿泊施設に福祉避難所を設置する考えについて伺う。

A 市長

市内の高齢者入所施設と協定を締結して災害時の受け入れを確保している。宿泊施設だけでは災害基本法施行規則による福祉避難所の指定基準を満たさないが、現在、市内の温泉ホテルと指定避難所の協定締結を協議しており、要配慮者の優先的な避難についても検討していく。

## 避難所運営

Q 若柳良明 議員

避難所の運営における女性避難者への対応について伺う。

A 市長

指定緊急避難場所の避難所連絡員は、日中は女性も配置しているが夜間は男性中心となっており、開設時等の増員を検討する中で女性職員の配置も検討していく。また、現在作成中の指定避難所運営マニュアルにおいて、要配慮者支援班を設けて、女性の安全対策も実施することとしている。



避難所でプライバシーを守る屋内用テント

## 教育のICT化

Q 瀬川義光 議員

教育のICT化に向けた「GIGAスクール構想」への対応状況について伺う。

A 教育長

小中学校の生徒1人1台の学習用タブレット端末（計6370台）は、令和3年3月までに順次導入される。教職員の資質と指導力の向上のため、より実践的な研修体制を構築しており、スキルアップを着実に推進していく。

A 教育長

新型コロナウイルス感染症対策として緊急的に追加配置された学習指導員は、要望のあった3校に全て配置。教員の業務支援目的のスクール・サポート・スタッフは、小中学校30校のうち26校各1人配置済み。残る4校は決定次第、配置される。

## 学童クラブ

Q 近村晴男 議員

今回の大統合で大迫地域の小学校は1校となることを機に、児童の放課後等の保育環境の充実に資する学童保育専用の施設を整備する考えはないか伺う。

A 教育長

現在の施設が統合後においても面積基準を満たす見込みであり、子どもたちの安全を確保できる観点からも「はやちね生

## 防災

Q 照井明子 議員

水底をさらって土砂などを取り除くしゅんせつを含む今後の河川整備について伺う。

「生きき交流館」を引き続き学童クラブの設置場所として考えており、施設の新設や規模拡大については考えていない。



はやちね生き生き交流館に向かう子どもたち

## ウッドスタート

Q 菅原ゆかり 議員

花巻市産材を活用し、木製のおもちゃを誕生祝いに送るウッドスタートの導入ができないか伺う。

A 市長

市内の森林を活用し、森林の大切さや森林の機能への理解、木材への親

## 悪臭対策

Q 照井省三 議員

岩手県化製油脂協同組合の悪臭問題について具体的な対応策を伺う。

A 市長

悪臭防止対策の改善報告に基づき悪臭処理設備の整備は行われているが、臭気対策の完了に至っていない。脱臭に効果が期待されるオゾンエアとオゾン水を噴霧する装置を設置し、噴霧量の調整を行っている。また、ミート工場の牛の肉や骨などの残渣を処理するラインについて、稼働時間の短縮と故障等の発

## マンホールカード

Q 大原 健 議員

マンホールカードの発行の経緯および発行状況について伺う。

A 市長

当市において、マンホールカードを発行することは、下水道を広報する上で有効な手段であると考え、平成28年12月1日に岩手県内で初めて発行した。

配布の状況は、花巻地域4095枚、石鳥谷地域2625枚、大迫地域1870枚、東和地域723枚となっている。うち686枚が県外からおいでになった方へ配布している。現在は感染症対策のため配布を一時中止しているが、感染状況を考慮して再開を判断したい。

## 学習支援

Q 照井明子 議員

安心・安全な教育環境と学びを保障するための、学習指導員およびスクール・サポート・スタッフの配置状況を伺う。